

第3章 地域別構想

1 地域区分の設定について

(1) 地域区分の考え方

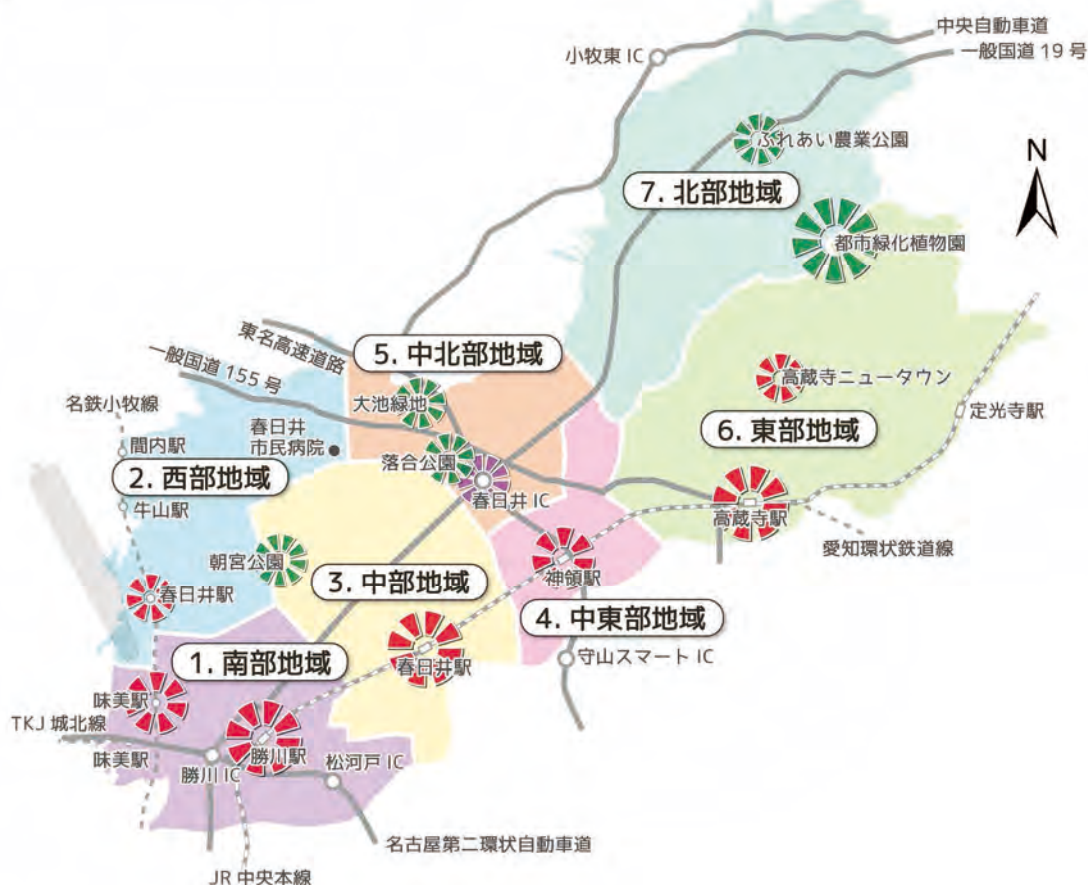
地域別構想は、全体構想で示した分野別まちづくりの方針をもとに、地域の資源や特性を踏まえながら、地域ごとのまちづくりの方針を示すものです。

そのため、地域の区分については、長い歴史の中で育まれてきた文化や自然などの資源及び地域コミュニティの維持・向上を考慮して、地域割りを設定しました。

(2) 地域区分の設定

地域区分の設定については、生活圏として重要な要素となるJR勝川駅、JR春日井駅、JR神領駅、JR高蔵寺駅、名鉄味美駅及び名鉄春日井駅などの都市構造上の拠点を基本としたうえで、古くからまちとして形成されてきた坂下地区及び春日井インターチェンジ周辺を中心とする地区については、それぞれを区分します。

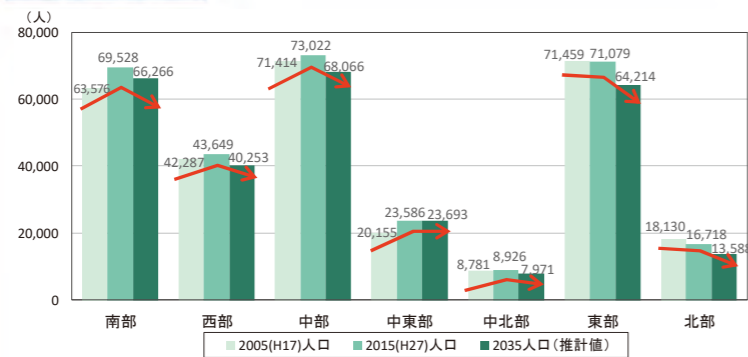
そのうえで、具体的な地域割りについては、地形などの地理的条件、幹線道路などの交通状況及び地域コミュニティの基本的な範囲となる中学校区などに配慮し、次の7地域に区分します。



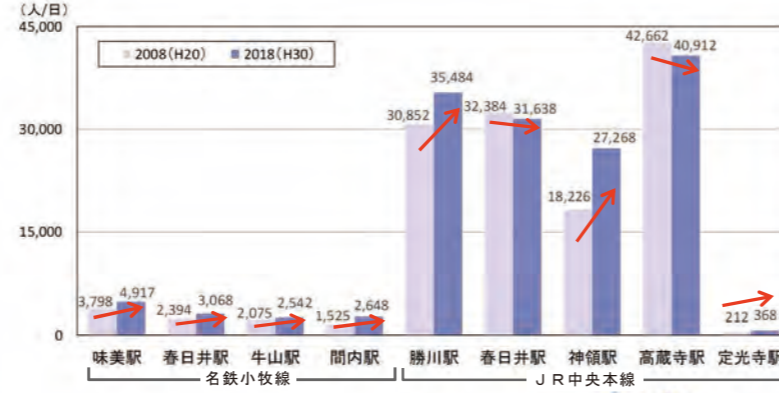
各地域における主な現況に関する特性を把握し、特性に応じて捉えるべき各地域の課題を整理します。

地域別現況

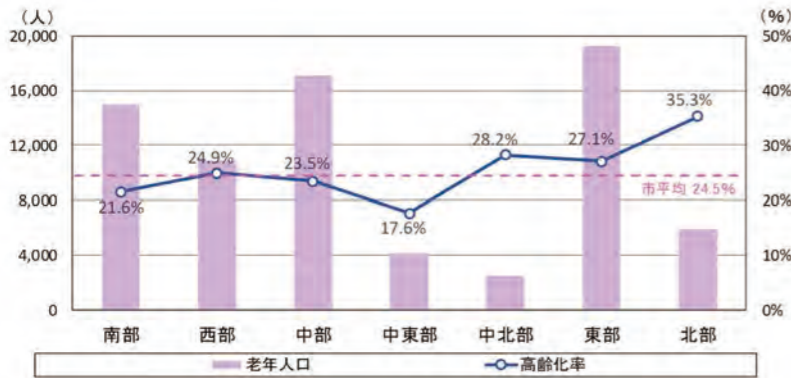
人口動向



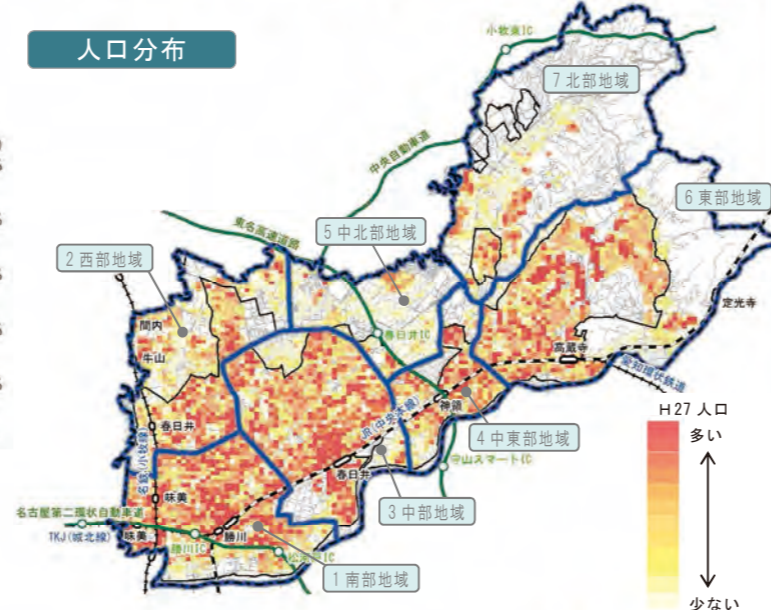
主な鉄道駅の利用状況



老年人口と高齢化率



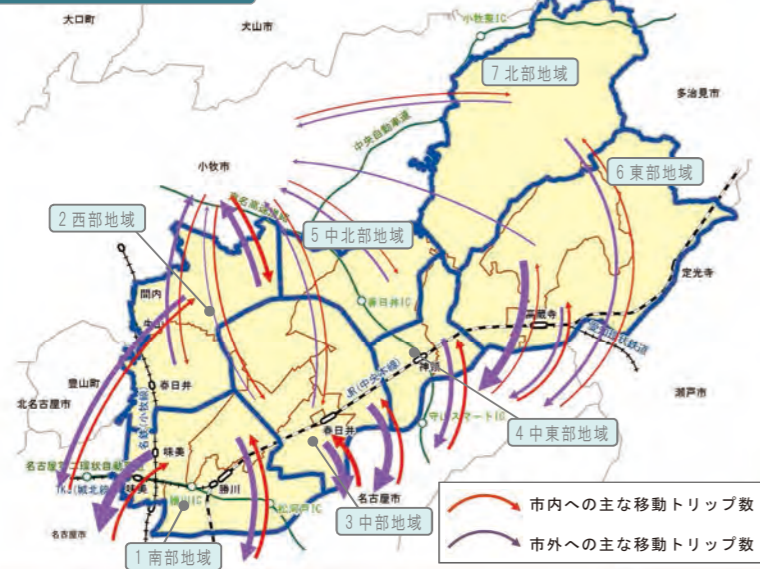
人口分布



公共交通の人口カバー状況



日常の移動特性



地域の課題

1 南部地域

- 昭和後期に土地区画整理事業が完了した地域も多く、道路や公園といった都市基盤が整備されているが、今後は、老朽化や空き家の増加などへの対応が必要
- 鉄道利用者数が増加傾向にあるJR勝川駅や名鉄味美駅があり、利用者にとって魅力的で利便性の高い駅周辺環境の向上が必要
- 地域内に洪水による浸水想定区域が存在し、被害軽減に向けた対策が必要

2 西部地域

- 市の北西部に位置し、隣接する小牧市との行き来も多い地域であることから、広域的な移動のための基盤整備が必要
- 名鉄春日井駅周辺の人口密度が低いため、交通利便性を活かした効果的な宅地整備が必要
- 地域北東部には、春日井市民病院や総合体育館などの施設が集積しており、施設への交通利便性の確保が必要

3 中部地域

- 市内で最も人口が多いが、人口の減少が予測されているほか、JR春日井駅の利用者も横ばい傾向にあるなど、低未利用地の活用などによる効果的な基盤整備が必要
- JR春日井駅の橋上駅化を契機に、本市の玄関口として、駅周辺の魅力向上に向けた取り組みが必要
- 地域南部において洪水による浸水想定区域が存在し、被害軽減に向けた対策が必要

4 中東部地域

- 今後も人口増加が予測されているほか、JR神領駅の利用者数も増加しており、駐輪場の整備など駅利用者の利便性の向上が必要
- 地域内に洪水による浸水想定区域が存在し、被害軽減に向けた対策が必要
- 他の鉄道駅周辺と比べ公共施設が少なく、都市機能をもった施設の誘導が必要

5 中北部地域

- 市街化調整区域であるものの、春日井インターチェンジ周辺の広域的な交通利便性が高い地域については、産業振興に向けた効果的な土地利用が必要
- 幹線道路の日常的な渋滞の緩和に向け、幹線道路の未整備区間の整備など、新たな交通網の形成が必要
- 地域内に運行頻度の高いバス路線が少ないため、居住者の移動ニーズに応じた対応が必要

6 東部地域

- 高蔵寺ニュータウンについては、下水道などのインフラ資産や共同住宅などの老朽化への対応が必要
- JR高蔵寺駅については、東の玄関口として、魅力的なにぎわいの創出に向けた都市機能の誘導が必要
- 高蔵寺ニュータウンとJR高蔵寺駅間のアクセスや、高蔵寺ニュータウン内での移動ニーズの多様化に対応するための交通手段が必要

7 北部地域

- 人口の減少や高齢化の進展が予測されていることから、空き地・空き家などの増加への対応が必要
- 地域北部の幹線道路沿道などの広域的な利便性が高い地域については、産業振興に向けた効果的な土地利用が必要
- 主要駅と既存集落を結ぶ移動利便性の確保に向けた交通手段が必要

3 各地域のまちづくり方針

各地域のまちづくり方針の構成内容

7地域に区分した地域ごとに、「まちづくりの目標」と「分野別の方針」を整理し、まちづくり方針図を示します。

まちづくりの目標

1 2

地域におけるまちづくりの目標を定めます。まちづくりの目標とは、地域が魅力あるまちになるためにどのようなまちづくりを進めていくのかという方向性を示すものです。

分野別の方針

3 4

「土地利用」「市街地整備・住環境整備」「道路・交通」「公園・緑地・都市景観」「都市防災」の観点から方針を示します。

1 まちづくりの目標

2 将来はこんな街にしたい（地域の想い）
地域懇談会でいただいた市民のご意見をもとにまとめた地域の将来に対する想い

3 分野別の方針

4 まちづくり方針図

(1) 南部地域

主な地区：JR勝川駅周辺・名鉄味美駅周辺



(1) 南部地域（主な地区：JR勝川駅周辺・名鉄味美駅周辺）

まちづくりの目標

西の玄関口として、利便性の高い交通拠点の形成と、築かれてきた住みやすさが続く居心地のよいまちづくり



将来はこんな街にしたい（地域の想い）・・・

- ✎ JR勝川駅や名鉄味美駅などの鉄道駅は、地域みんなが利用する重要な拠点であるため、魅力的で便利な場所になってほしい
- ✎ 神社や公園など、地域が誇る資源を活かした地域の交流が続き、住みやすい生活環境が続いている街になってほしい
- ✎ 通学路の安全対策や街路灯の設置など、安全に歩ける歩行空間を整えてほしい

本地域は、鉄道が東西南北に運行するなど、優れた広域公共交通という地域特性を有することから、その鉄道駅周辺は、市の顔となる西の玄関口として、地域住民が快適で安心して利用できる拠点の形成を目指します。また、これまでの基盤整備によって築かれた良好な居住環境については、地域住民の誇りでもあることから、維持・充実に向けた必要な取り組みを地域住民とともに進め、魅力的で安全なまちづくりを目指します。

分野別の方針

土地利用の方針

- ・駅周辺の魅力向上に向け、スポンジ化への対応も含めた空き地・空き家対策など、土地の有効活用を検討します。
- ・鉄道駅やバス停の徒歩圏などの交通利便性の高い地域については、共同住宅、店舗、事務所などが共存する利便性の高い住居系土地利用の形成を図ります。
- ・JR勝川駅から市役所周辺までの幹線道路沿道の地区は、商業系の土地利用を誘導します。

市街地整備・住環境整備の方針

- ・名鉄味美駅周辺については、周辺の交通環境の向上に向け、駅周辺の整備を推進します。
- ・JR勝川駅周辺については、商業機能の活性化とにぎわいづくりを図ります。
- ・住工混在地域については、住宅などの緑化の推進、工場周辺における植栽帯の設置などにより住環境を向上します。

道路・交通の方針

- ・円滑な交通処理のため、名古屋犬山線などの幹線道路の整備を促進します。
- ・自転車道などの道路空間の再配分を検討します。
- ・「通学路安全対策プログラム」に基づき、効果的な交通安全対策を推進します。
- ・名鉄味美駅周辺については、自転車の利用状況に応じた駐輪場の整備を推進します。
- ・TKJ城北線のJR勝川駅への接続などの利便性の向上を検討します。

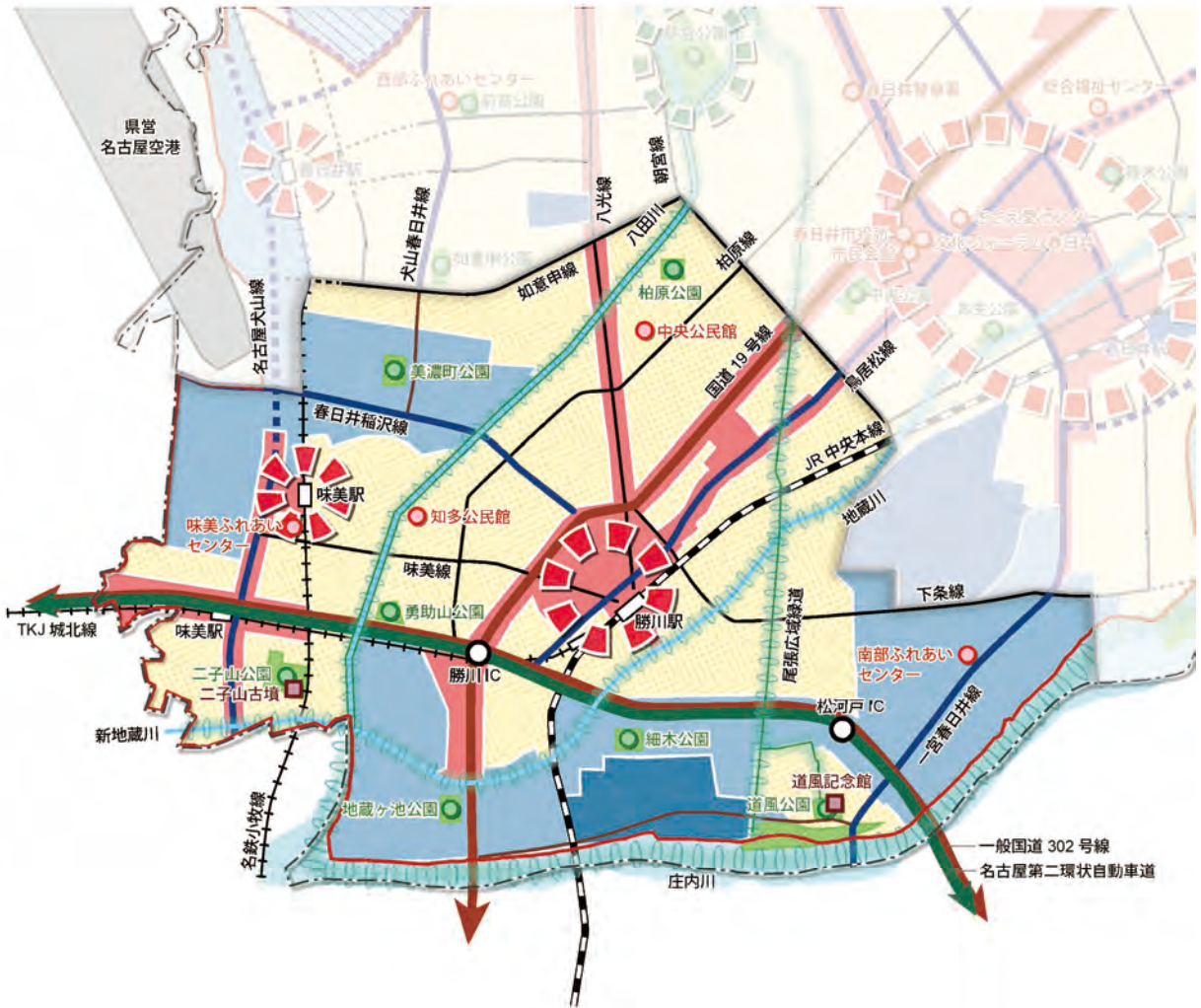
公園・緑地・都市景観の方針

- ・既存公園のリニューアルにより魅力の向上を図ります。
- ・既存工場が建ち並んだ地区などについては、緑化協定の締結などの活用により適切な緑化を誘導します。
- ・庄内川や八田川、地蔵川、尾張広域緑道については、身近に感じる水辺や緑地空間としてうるおい軸を形成します。
- ・市民、事業者との協働による景観まちづくり（景観啓発、違反広告除去）を推進します。

都市防災の方針

- ・大雨時の浸水被害の軽減のため八田川の改修を促進します。
- ・都市型の集中豪雨などに備えるため、市民や事業者に向けた啓発活動や雨水貯留浸透施設の設置などを促進し、市街地の一時的な保水量を向上します。

まちづくり方針図



凡例

	商業系地区		森林地区		地区幹線道路 (未整備)		緑道		広域交通拠点
	工業系地区		産業誘導地区		その他幹線道路 (未整備)		河川		地域界
	住工調和地区		広域幹線道路		主要な施設・地域資源		うるおい軸		市域界
	住居系地区		主要幹線道路 (未整備)		行政施設		都市交流拠点		市街化区域
	農住共生地区		都市幹線道路 (未整備)		公園・緑地		緑の拠点		

(2) 西部地域

主な地区：名鉄春日井駅周辺・牛山・鷹来



(2) 西部地域（主な地区：名鉄春日井駅周辺・牛山・鷹来）

まちづくりの目標

名鉄小牧線の交通利便性を活かしつつ、文化が交流を生み、人と人の繋がりが感じられる明るく・やさしいまちづくり



将来はこんな街にしたい（地域の想い）・・・

- ☞ 名鉄春日井駅などの鉄道駅は、地域みんなが利用する重要な拠点であるため、安全で安心して利用できる場所になってほしい
- ☞ 子どもやお年寄りなど、自動車を運転できない人でもバスなどで移動できる便利な交通環境が整っている街になってほしい
- ☞ 農地や公園などの身近に感じられる緑や、地域に根づく伝統・文化を重んじ、それら資源を活用して交流が盛んな街になってほしい

本地域は、地域西側に鉄道が運行し、名古屋方面や小牧方面など周辺都市へのアクセス性に優れた地域であることから、その中心となる鉄道駅については、地域のニーズに応じた利用しやすい拠点形成を目指します。また、日常生活に潤いを与えてきた豊かな自然についてはこれからも保全に努めつつ、生活にやすらぎをもたらす資源として活用を図ります。地域住民の誇りである伝統・文化は、地域コミュニティを守る重要な要素として、持続的な取り組みを目指します。

分野別の方針

土地利用の方針

- ・名鉄春日井駅周辺については、都市機能の誘導を図るとともに高度利用化を促進します。
- ・県営名古屋空港周辺は航空宇宙産業などの先端産業の集積に資する工業系市街地の形成を促進します。
- ・産業集積が進んでいる上田楽地区や四ツ家地区周辺においては、周辺の生活環境へ配慮しつつ、産業系の土地利用の促進を図ります。
- ・周辺環境との調和や都市基盤施設の整備状況に応じて用途転換や用途純化を検討します。

市街地整備・住環境整備の方針

- ・西部第一土地区画整理事業及び西部第二土地区画整理事業を促進し、良好な住環境を形成します。
- ・名鉄春日井駅については、駅舎のバリアフリー化を図るとともに駅前広場や駅へのアクセス道路の整備及び東西の駅前広場の行き来の確保など、利用しやすい交通結節点として機能を強化します。
- ・街づくり支援制度などにより、地域の生活環境を良くするため市民が主体となって取り組む活動を支援します。

道路・交通の方針

- ・地域間の円滑な交通処理のため、一宮春日井線、小牧春日井線及び犬山春日井線などの整備を促進します。
- ・周辺地域の利便性の向上を図る道路として鷹来線の整備を推進します。
- ・「通学路安全対策プログラム」に基づき、効果的な交通安全対策を推進します。
- ・名鉄春日井駅駅前広場については、駅舎の再整備にあわせ、駅周辺の魅力を高めるための空間の確保を図ります。
- ・現在、駅前広場が設置されていない名鉄牛山駅及び名鉄間内駅東口周辺については、将来の市街地形成に向けたアクセス道路の整備や駅前広場の設置について調査・検討します。
- ・生活交通は市民の移動特性に応じたコミュニティバスの路線変更や新たな交通手段を検討します。

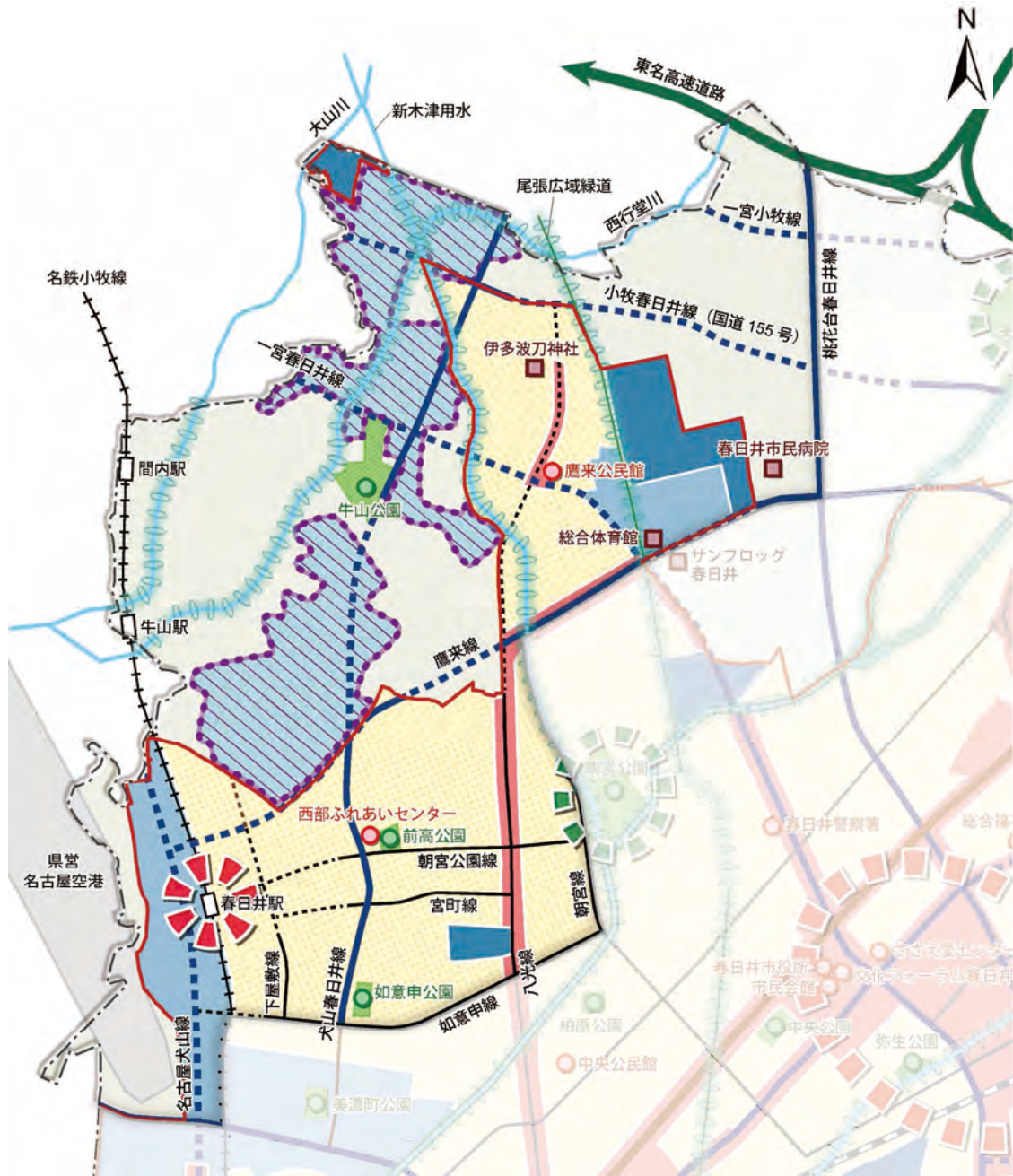
公園・緑地・都市景観の方針

- ・西部第一土地区画整理事業及び西部第二土地区画整理事業により地域の交流を促進する都市公園の整備を推進します。
- ・工業地における敷地内及び壁面など、緑化を推進し、良好な景観の形成を図ります。
- ・西行堂川や尾張広域緑道については、身近に感じる水辺や緑地空間としてうるおい軸を形成します。
- ・名鉄春日井駅については、都市交流拠点として、地域の顔となる景観を形成します。
- ・市民、事業者との協働による景観まちづくり（景観啓発、違反広告除却）を推進します。

都市防災の方針

- ・西部第一土地区画整理事業及び西部第二土地区画整理事業が進められている地区においては、雨水幹線や調整池の整備などにより浸水対策を図ります。
- ・既存の集落地においては、緊急車両の通行の妨げとなる狭あいな道路について、街づくり支援制度などの活用を促進し、解消を目指します。
- ・都市型の集中豪雨などに備えるため、市民や事業者に向けた啓発活動や雨水貯留浸透施設の設置などを促進します。

まちづくり方針図



凡例

	商業系地区		森林地区		地区幹線道路 (未整備)		緑道		広域交通拠点
	工業系地区		産業誘導地区		その他幹線道路 (未整備)		河川		地域界
	住工調和地区		広域幹線道路		主要な施設・地域資源		うるおい軸		市域界
	住居系地区		主要幹線道路 (未整備)		行政施設		都市交流拠点		市街化区域
	農住共生地区		都市幹線道路 (未整備)		公園・緑地		緑の拠点		

(3) 中部地域

主な地区：市役所・JR春日井駅周辺



(3) 中部地域（主な地区：市役所・JR春日井駅周辺）

まちづくりの目標

本市の中心的な拠点として多様な都市機能が
集積する利便性の高い基盤づくりと、人とま
ちの好循環による魅力的なまちなかづくり



将来はこんな街にしたい（地域の想い）・・・

- JR春日井駅は、多くの人々が行き交う中心的な拠点であるため、魅力的で回遊したくなる場所になってほしい
- 一部の地域では、空き地・空き家が増加しているため、まちづくりと一体的な活用を図ることで、地域に新たな魅力をつくっていききたい
- 庄内川や内津川、八田川などの河川沿い地域は、基盤整備により防災対策を進めるほか、市民の防災意識を高める取り組みを進めたい

本地域は、JR春日井駅周辺から市役所周辺を中心に昔から業務・商業の中心部として栄えてきた歴史がある一方で、古くからの建物や空き地などが点在しつつあることから、それら資源の効果的な活用により、人々が交流し、地域の魅力と活気があふれるまちづくりを目指します。また、JR春日井駅より南側地域や熊野桜佐地区は、東西軸の円滑化や防災性の向上にもつながる面的な基盤整備の推進により、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

分野別の方針

土地利用の方針

- ・ JR春日井駅周辺の生活利便性の高いエリアは、その利便性を活かした人口の集積や都市機能の誘導を図る地域として市街地の形成を検討します。
- ・ 市役所周辺においては、公共施設を含め公園・緑地の機能と配置のあり方を検討し、市の中心にふさわしい緑豊かなにぎわいのある空間を形成します。
- ・ 都市交流拠点であるJR春日井駅周辺から市役所周辺については、行政、文化施設や商業施設などの集積を図るとともに、高度利用化を促進します。

- ・駅周辺の魅力向上に向け、スポンジ化への対応も含めた空き地・空き家対策など、土地の有効活用を検討します。

市街地整備・住環境整備の方針

- ・JR春日井駅周辺は、高度利用の促進に向けた市街地再開発事業を促進します。
- ・八事地区や浅山地区など相当期間未着手になっている土地区画整理事業の施行区域については見直しを検討します。
- ・熊野桜佐地区については、良好な住宅地の形成を目指して、土地区画整理事業を促進します。
- ・JR春日井駅は複数の交通手段の連携のための交通結節点の機能を強化します。
- ・JR春日井駅から鳥居松周辺については、商業機能の活性化とにぎわいづくりを図ります。

道路・交通の方針

- ・地域間の円滑な交通処理のため、河北線の整備を促進します。
- ・守山スマートインターチェンジなどへの接続性の向上や地域間を結ぶ道路として、下条線の整備を検討します。
- ・歩行者交通安全確保のため、鳥居松線の整備を促進します。
- ・熊野桜佐地区とJR春日井駅を結ぶ歩行者・自転車の利用空間のネットワーク化を検討します。
- ・自転車道など道路空間の再配分を検討します。
- ・「通学路安全対策プログラム」に基づき、効果的な交通安全対策を推進します。
- ・JR春日井駅駅前広場については、駅周辺整備にあわせ、駅周辺の魅力を高めるための空間の確保を図ります。

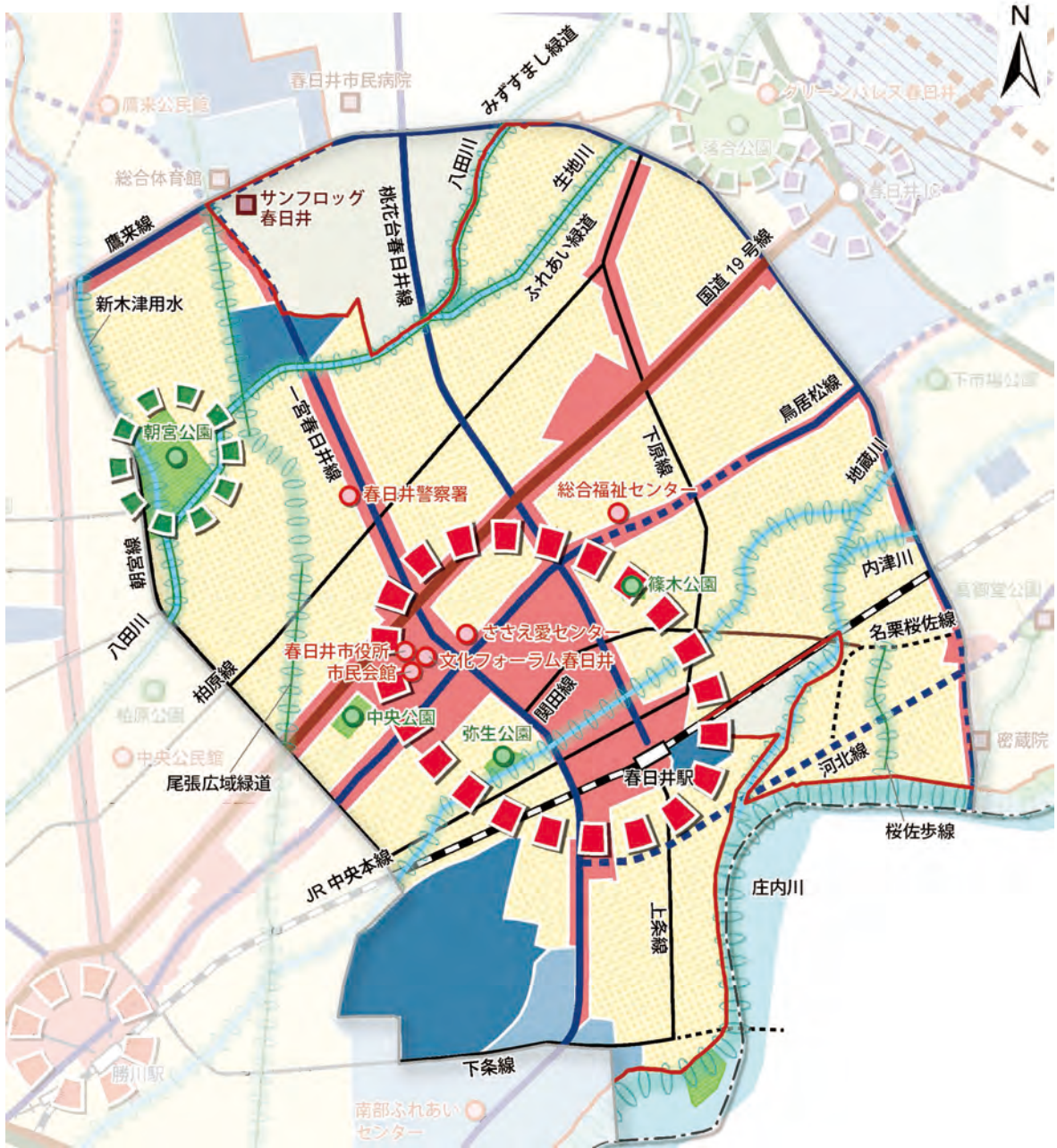
公園・緑地・都市景観の方針

- ・朝宮公園は、「文化・スポーツ都市」としてふさわしい多目的総合運動広場（陸上競技場）などを有する屋外スポーツ施設の拠点として整備し、近隣のスポーツ施設と連携して市民のスポーツ振興と健康増進を図るとともに、防災機能の拡充を推進します。
- ・熊野桜佐土地区画整理事業により地域の交流を促進する都市公園の整備を推進します。
- ・工業地における敷地内及び壁面など、緑化を推進し、良好な景観の形成を図ります。
- ・JR春日井駅周辺は、市役所にアクセスする市の玄関口としてふさわしいシンボル性のある市街地景観を形成します。
- ・下街道など地域の資源を活かした地域デザインを市民や事業者が主体的に考えることなどを支援し、個性ある景観の形成を促進します。
- ・市民、事業者との協働による景観まちづくり（景観啓発、違反広告除去）を推進します。

都市防災の方針

- ・防災公園など災害応急対策施設の整備を検討します。
- ・公共下水道の整備に合わせ、雨水幹線などの整備により浸水対策を図ります。
- ・都市型の集中豪雨などに備えるため、市民や事業者に向けた啓発活動や雨水貯留浸透施設の設置などを促進します。

まちづくり方針図

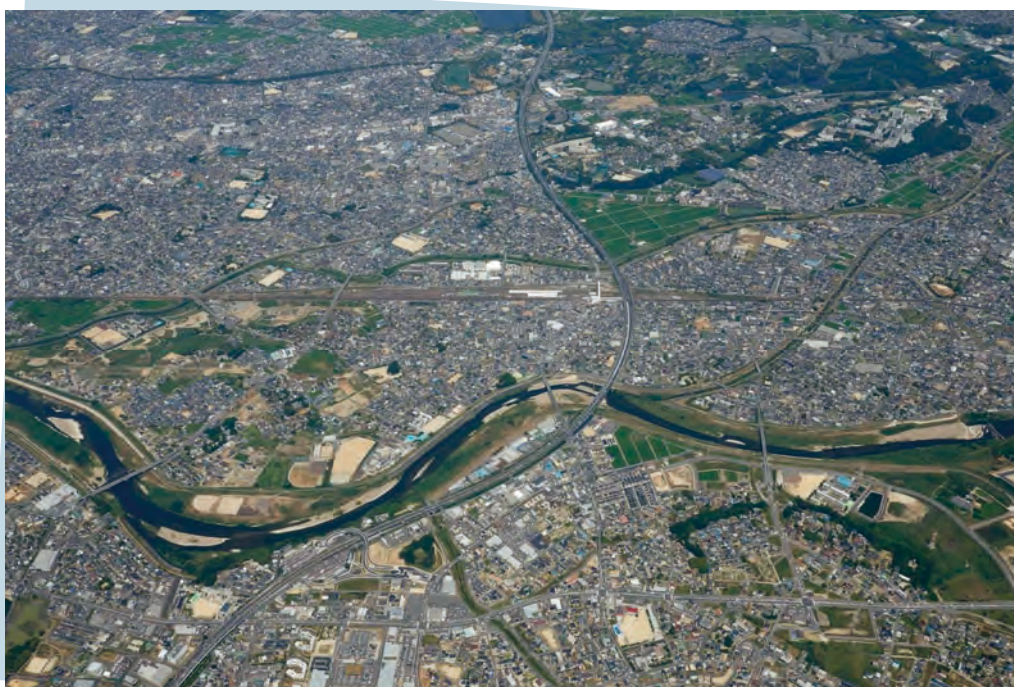


凡例

	商業系地区		森林地区		地区幹線道路 (未整備)		緑道		広域交通拠点
	工業系地区		産業誘導地区		その他幹線道路 (未整備)		河川		地域界
	住工調和地区		広域幹線道路		主要な施設・地域資源		うるおい軸		市域界
	住居系地区		主要幹線道路 (未整備)		行政施設		都市交流拠点		市街化区域
	農住共生地区		都市幹線道路 (未整備)		公園・緑地		緑の拠点		

(4) 中東部地域

主な地区：JR神領駅周辺



(4) 中東部地域（主な地区：JR神領駅周辺）

まちづくりの目標

JR神領駅を中心に交通アクセスが整い、中部大学との共生により、多世代の交流がまちに活気を生み出す、暮らしたくなるまちづくり



将来はこんな街にしたい（地域の想い）・・・

- ☞ 地域内に中部大学が立地している強みを活かし、地域住民と学生が助け合いながら共生できる、活気あふれる住宅地になってほしい
- ☞ 川沿いの親水空間や緑道などの身近に感じられる自然は、良好な住環境を形成している重要な要素となっているため、しっかり保全していくべき
- ☞ 通学路や公園の安全性を高めるなど、子育て世代が安心して暮らせる環境を築いていきたい

本地域は、JR神領駅の利用者が近年大幅に増加しているなど、市内でも住宅地としての潜在的な需要が高い地域であることから、良好で計画的な街並みの形成を図り、今後も子育て世代が住みたく魅力的なまちづくりを目指します。また、地域内の東西方向の交通円滑化や地域南部の防災強化に向け、必要となる基盤整備を図るほか、若者の活力を地域に取り組むことで、地域コミュニティの維持・充実を目指します。

分野別の方針

土地利用の方針

- ・ JR神領駅周辺については、都市交流拠点としてふさわしい商業機能などを誘導するとともに、高度利用化を促進します。
- ・ JR神領駅周辺については、その利便性を活かした人口の集積や都市機能の誘導を図る地域として市街地の形成を検討します。

市街地整備・住環境整備の方針

- ・熊野桜佐地区については、良好な住宅地の形成を目指して、土地区画整理事業を促進します。
- ・産学官の連携と強化を図りつつ、大学、高等学校などと地域が交流する文化のまちを形成します。

道路・交通の方針

- ・守山スマートインターチェンジなどへの接続性の向上や円滑な交通処理のため、河北線や北尾張中央道などの整備を促進します。
- ・「通学路安全対策プログラム」に基づき、効果的な交通安全対策を推進します。
- ・JR神領駅周辺については、自転車の利用状況に応じた駐輪場の整備を推進します。
- ・生活交通は市民の移動特性に応じたコミュニティバスの路線変更や新たな交通手段を検討します。
- ・自転車道などの道路空間の再配分を検討します。

公園・緑地・都市景観の方針

- ・熊野桜佐土地区画整理事業により地域の交流を促進する都市公園の整備を推進します。
- ・既存公園のリニューアルにより魅力の向上を図ります。
- ・高御堂古墳や密蔵院などは、地域の歴史資源として保全します。
- ・熊野桜佐地区については、緑道として熊野歩線の整備を促進し、良好な生活環境を形成します。
- ・地域内を流れる庄内川については、貴重なオープンスペースとして、自然環境に配慮しながら、レクリエーションの場としての活用を検討します。
- ・市民、事業者との協働による景観まちづくり（景観啓発、違反広告除却）を推進します。

都市防災の方針

- ・土地区画整理事業が進められている熊野桜佐地区においては、雨水幹線や調整池の整備などにより浸水対策を図ります。また、外水対策として庄内川の堤防の強化を促進します。

まちづくり方針図



凡例

	商業系地区		森林地区		地区幹線道路 (未整備)		緑道		広域交通拠点
	工業系地区		産業誘導地区		その他幹線道路 (未整備)		河川		地域界
	住工調和地区		広域幹線道路		主要な施設・地域資源		うるおい軸		市域界
	住居系地区		主要幹線道路 (未整備)		行政施設		都市交流拠点		市街化区域
	農住共生地区		都市幹線道路 (未整備)		公園・緑地		緑の拠点		

(5) 中北部地域

主な地区：春日井インターチェンジ周辺



(5) 中北部地域（主な地区：春日井インターチェンジ周辺）

まちづくりの目標

農地や緑道など、身近にふれあえる自然を保全しつつ、優れた広域交通網を活かした産業振興により、活力を創生するまちづくり



将来はこんな街にしたい（地域の想い）・・・

- 身近に広がる農地やふれあい緑道などの自然豊かな環境は、この地域の誇れる資源として守っていききたい
- 一般国道 155 号をはじめ、日常的に渋滞する幹線道路の交通円滑化を図り、安全で快適な交通環境を整えてほしい
- 高齢化が進む中、自動車を運転できない市民でも安心して鉄道駅や主な施設まで行き来できる交通手段が確保された街になってほしい

本地域は、広域交通拠点である春日井インターチェンジを有していることから、優れた広域交通網を活かした産業振興を図るための、戦略的な産業基盤の創出を目指します。また、慢性的な交通集中の緩和に向けては、バイパス機能を有する新たな幹線道路網の構築を目指します。一方で、本地域に残る豊かな自然は、地域住民に潤いややすらぎを与える重要な資源であることから、適切な保全に努めます。

分野別の方針

土地利用の方針

- ・ 広域交通拠点である春日井インターチェンジ周辺においては、インターチェンジへのアクセスの利便性が高いため、北尾張中央道の整備にあわせ、工場や観光施設などの産業系土地利用の誘導を図ります。
- ・ 周辺環境との調和や都市基盤施設の整備状況に応じて用途転換や用途純化を検討します。

市街地整備・住環境整備の方針

- ・ 一般国道 19 号以東の既存の集落地においては地区計画などを活用し、住環境の維持保全を図ります。

道路・交通の方針

- ・春日井インターチェンジ周辺においては、渋滞解消やアクセス利便性の強化を図るため、北尾張中央道の整備の促進や東山大泉寺線などの整備を推進します。
- ・地域交通の円滑化のため、小牧春日井線の整備を促進します。
- ・「通学路安全対策プログラム」に基づき、効果的な交通安全対策を推進します。
- ・生活交通は市民の移動特性に応じたコミュニティバスの路線変更や新たな交通手段を検討します。

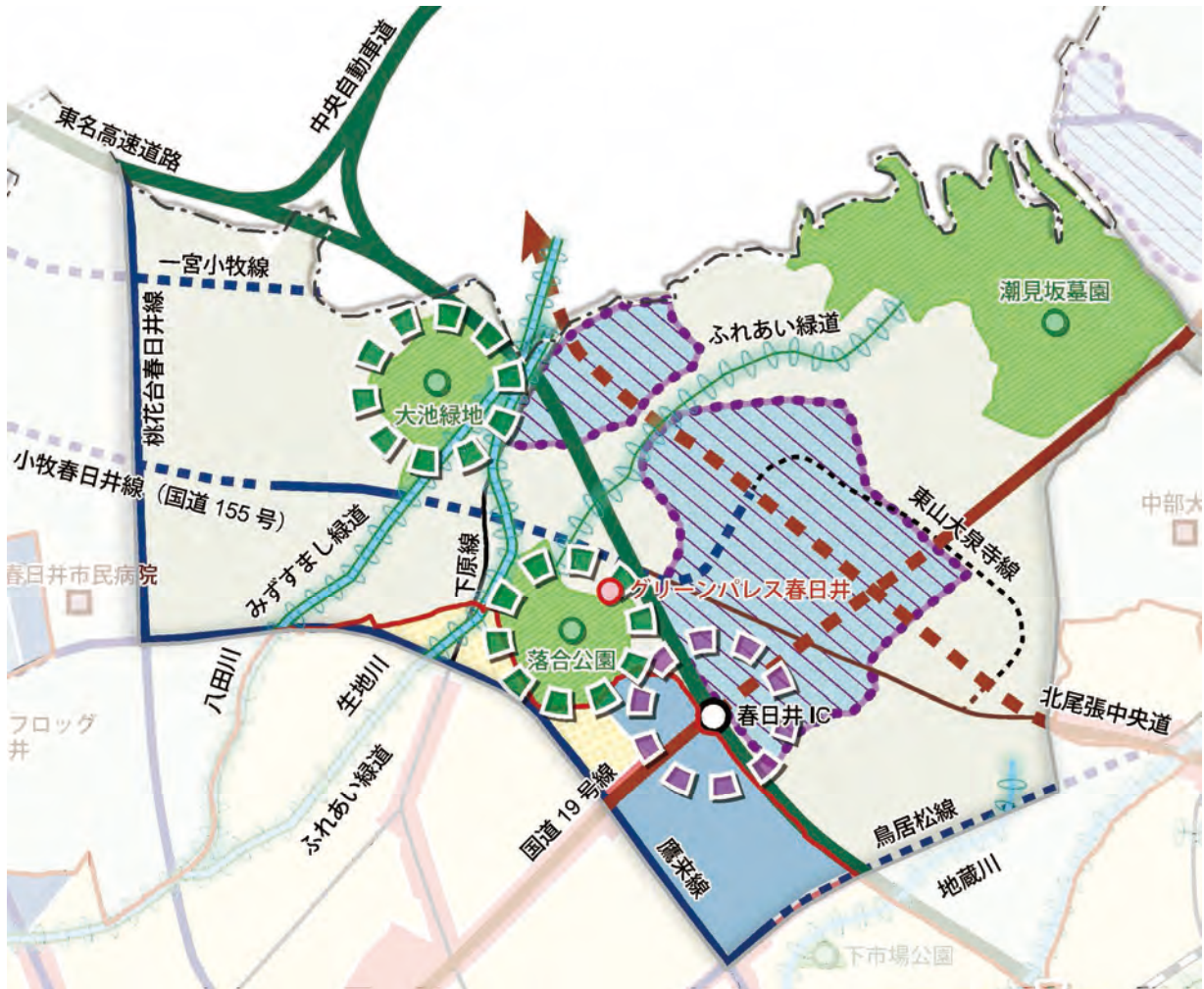
公園・緑地・都市景観の方針

- ・落合公園や大池緑地など緑の拠点を結ぶネットワークとして、みずすまし緑道やふれあい緑道の整備を推進するとともに、緑の拠点の周辺にスポーツや健康づくりの機能の充実を検討します。
- ・既存公園のリニューアルによる魅力向上を図ります。
- ・工業地における敷地内及び壁面など、緑化を推進し、良好な景観の形成を図ります。

都市防災の方針

- ・既存の集落地においては、緊急車両の通行の妨げとなる狭い道路について、街づくり支援制度などの活用を促進し、解消を目指します。

まちづくり方針図



凡例

	商業系地区		森林地区		地区幹線道路 (未整備)		緑道		広域交通拠点
	工業系地区		産業誘導地区		その他幹線道路 (未整備)		河川		地域界
	住工調和地区		広域幹線道路		主要な施設・地域資源		うるおい軸		市域界
	住居系地区		主要幹線道路 (未整備)		行政施設		都市交流拠点		市街化区域
	農住共生地区		都市幹線道路 (未整備)		公園・緑地		緑の拠点		

(6) 東部地域

主な地区：JR高蔵寺駅周辺・高蔵寺ニュータウン



(6) 東部地域（主な地区：ＪＲ高蔵寺駅周辺・高蔵寺ニュータウン）

まちづくりの目標

緑豊かな自然が残り、多世代の交流が生まれ、
人と資源の好循環による、暮らし続けたくなる
まちづくり



将来はこんな街にしたい（地域の想い）・・・

- 緑が豊かで公園も多く、自然が身近に感じられる環境は、次世代へ向けて守り受け継いでいくべき本地域の資源だと思う
- 今後増加が懸念される空き地や空き家は、地域のコミュニティを創出する場として転換を図りたい
- ＪＲ高蔵寺駅周辺の活性化を図るとともに、バスの拡充や自転車道の整備など、交通環境が整った街になってほしい

本地域は、リ・ニュータウン計画と連携し、子どもたちが多世代に見守られながら育ち、高齢者が安心して暮らし、行きたい場所へ安心して行くことができる移動環境が整っている、そんな住環境を創出し、効率的な居住の循環による持続可能な地域の形成を目指します。ＪＲ高蔵寺駅周辺については、周辺の世代変化に伴うニーズの多様化へ対応するため、交通結節機能の改善や都市機能の誘導などを図り、快適で魅力的な拠点の形成を目指します。

分野別の方針

土地利用の方針

- ・段階的に土地利用の転換を進め、地区の変化に応じた継続的なまちの発展を目指します。
- ・ＪＲ高蔵寺駅周辺は、都市交流拠点として都市機能の誘導を図るとともに高度利用化を促進します。
- ・駅周辺の魅力向上に向け、スポンジ化への対応も含めた空き地・空き家対策など、土地の有効活用を検討します。
- ・高蔵寺ニュータウンやＪＲ高蔵寺駅周辺の商業地については、地域の生活を支える商業機能の充実を図ります。

- ・高蔵寺ニュータウンの住宅地については、リノベーションによる付加価値の高い住宅の提供や、低層住宅地としての土地利用を図るなど、多世代の共生や多様なライフスタイルにあわせた、住宅供給や流通を促進します。

市街地整備・住環境整備の方針

- ・JR高蔵寺駅周辺については、多世代にやさしい都市交流拠点として、駅前広場の利便性や安全性の向上を図るため、機能の見直しや立体道路制度などによる土地の有効活用を検討します。
- ・旧西藤山台小学校施設については、民間活用による生活利便施設などの整備を推進します。
- ・持続可能なまちづくりとして、都市再生推進法人と連携した地域の活性化に努めます。
- ・産学官の連携と強化を図りつつ、大学、高等学校などと地域が交流する文化のまちを形成します。

道路・交通の方針

- ・地域間の交流を促進する高座線の全面開通を目指します。
- ・長期未着手の都市計画道路の必要性を検証し、計画の見直しを図ります。
- ・「通学路安全対策プログラム」に基づき、効果的な交通安全対策を推進します。
- ・ラストマイル自動運転など、先進技術による快適なまちづくりを目指し、様々なプロジェクトを推進します。
- ・より早く、確実なバスネットワークを築けるよう、公共車両優先システム（優先レーン、優先信号制御など）の導入を検討します。
- ・JR高蔵寺駅周辺については、自転車の利用状況に応じた駐輪場の整備を推進します。

公園・緑地・都市景観の方針

- ・高森山周辺については、公園や緑地を活用し、ウォーキングなどのスポーツ・健康づくり機能の充実を図ります。
- ・自然環境に配慮しながら、市民が自然と親しめる場として、東海自然歩道などの活用を促進します。
- ・地域内を流れる庄内川については、貴重なオープンスペースとして、レクリエーションの場や散策路としての活用を検討します。
- ・東部丘陵については、地域住民の生活に身近な里山として、森林の適正な整備による保全を図ります。
- ・市民、事業者との協働による景観まちづくり（景観啓発、違反広告除去）を推進します。

都市防災の方針

- ・土砂災害警戒区域など土砂災害のリスクが高い地区については、土砂災害ハザードマップの周知を図るなど、市民の生活の安全確保に努めます。
- ・既存の集落地においては、緊急車両の通行の妨げとなる狭あいな道路について、街づくり支援制度などの活用を促進し、解消を目指します。

まちづくり方針図



凡例

	商業系地区		森林地区		地区幹線道路 (未整備)		緑道		広域交通拠点
	工業系地区		産業誘導地区		その他幹線道路 (未整備)		河川		地域界
	住工調和地区		広域幹線道路		主要な施設・地域資源		うるおい軸		市域界
	住居系地区		主要幹線道路 (未整備)		行政施設		都市交流拠点		市街化区域
	農住共生地区		都市幹線道路 (未整備)		公園・緑地		緑の拠点		

(7) 北部地域

主な地区：坂下



(7) 北部地域（主な地区：坂下）

まちづくりの目標

恵まれた広域交通網を活かした産業の振興と、豊かな自然を体感できる空間の創出により、活力と交流が生まれるまちづくり



将来はこんな街にしたい（地域の想い）・・・

- ☞ 最寄りの駅であるJR高蔵寺駅や病院などへ行き来できるコミュニティバスの運行が充実した地域になってほしい
- ☞ 地域に広がる農地は、誇れる資源として有効に活用し続けられるよう、担い手の確保や、地域で守っていく取り組みを進めていきたい
- ☞ 神社や神事など、地域が誇る伝統文化は、地域のコミュニティ維持にもつながるため、行政との協働により守っていきたい

本地域の北側は、小牧東インターチェンジと一般国道19号に挟まれ、優れた広域交通網を有していることから、そのポテンシャルを活かした産業振興に向け、計画的な基盤整備を図ります。そのほかの地域に広がる豊かな自然は、体験できる自然としての活用を図り、新たな交流が地域に活気を生み出すまちづくりを目指します。また、安心して暮らせる住環境の確保に向け、駅や主要な施設へ行き来できる交通環境の提供を目指します。

分野別の方針

土地利用の方針

- ・坂下地区の商業地については、地域の生活を支える商業機能としての維持を図ります。
- ・一般国道19号沿いに位置づけた産業誘導ゾーンについては、周辺の自然や住環境への配慮と調和を図ります。また、都市活力の増進や地域活性化を目的とした良好な工業系の開発については、建築物の用途や道路施設などを適切に配置した地区計画などにより、これを許容していきます。
- ・優良な農地については保全を図ります。

市街地整備・住環境整備の方針

- ・地区計画などを活用し、生活利便性や地域コミュニティの維持を図ります。
- ・街づくり支援制度などにより、地域の生活環境を良くするため市民が主体となって取り組む活動を支援します。

道路・交通の方針

- ・地域内の生活道路の安全性向上に向けたカラー舗装などの交通安全対策を検討します。
- ・「通学路安全対策プログラム」に基づき、効果的な交通安全対策を推進します。
- ・生活交通については、市民の移動特性に応じたコミュニティバスの路線変更や新たな交通手段を検討します。

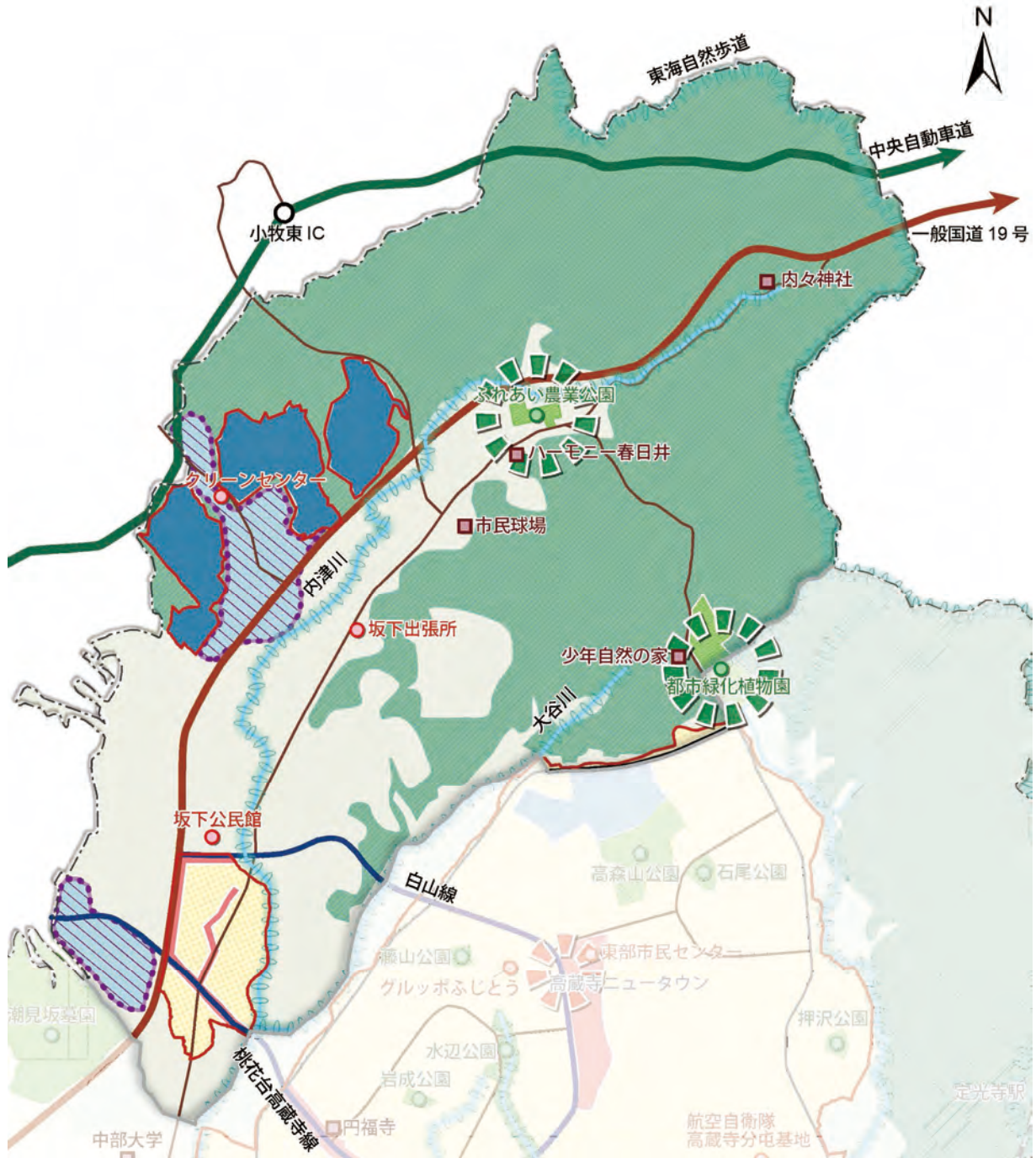
公園・緑地・都市景観の方針

- ・ふれあい農業公園については、市民が農に親しみ、地域に活力と交流を生み出す拠点として、利活用を図ります。
- ・都市緑化植物園や少年自然の家などを含む自然公園に指定された区域は、身近で貴重な自然環境として宅地開発を抑制するとともに、東海自然歩道などを活用して、市民が自然を楽しむことができる場としての活用を図ります。
- ・都市緑化植物園周辺については、緑の拠点として充実を図ります。
- ・工業地における敷地内及び壁面など、緑化を推進し、良好な景観の形成を図ります。
- ・東部丘陵の自然景観をより魅力的なものにするため、採石場の緑化を促進します。
- ・東部丘陵については、地域住民の生活に密着した里山であり、森林の適正な整備により保全します。
- ・内々神社や下街道などの地域の資源を活かした地域デザインを市民や事業者が主体的に考えることなどを支援し、個性ある景観の形成を促進します。

都市防災の方針

- ・土砂災害警戒区域など土砂災害のリスクが高い地区については、土砂災害ハザードマップの周知を図るなど、市民の生活の安全確保に努めます。
- ・都市型の集中豪雨などに備えるため、市民や事業者に向けた啓発活動や雨水貯留浸透施設の設置などを促進します。

まちづくり方針図



凡例

	商業系地区		森林地区		地区幹線道路 (未整備)		緑道		広域交通地点
	工業系地区		産業誘導地区		その他幹線道路 (未整備)		河川		地域界
	住工調和地区		広域幹線道路		主要な施設・地域資源		うるおい軸		市域界
	住居系地区		主要幹線道路 (未整備)		行政施設		都市交流拠点		市街化区域
	農住共生地区		都市幹線道路 (未整備)		公園・緑地		緑の拠点		